

1 学校教育目標（知）

自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします。

2 教科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

英語の知識・コミュニケーション技能【知識および技能】	コミュニケーション力【思考力・判断力・表現力など】	主体的に学び、関わろうとする態度【学びに向かう力、人間性等】
<p>○外国語を通じて言語の働きや役割を理解する。</p> <p>○外国語の音声や語彙、表現、文法を、「聞くこと」、「話すこと」を用いた実際のコミュニケーションの場面において活用できる技術を身に付けようとする。</p> <p>○外国語の音声や語彙、表現を「読むこと」、「書くこと」を主とした実際のコミュニケーションの場面において活用できる基本的な技能を身に付けるようにする。</p>	<p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的・社会的で具体的な話題について表現しあうことができるコミュニケーション力。</p> <p>○コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて具体的な話題、簡単な情報や考えなどの概要を理解したりそれらを活用して表現し、伝えあったりすることができる力。</p>	<p>○外国語やその背景にある文化の多様性を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>○外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>○あいまいさに耐えながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>

4 評価の仕方（上記の3観点を次の項目で総合的に評価していきます）

<p>○学習への取り組み 授業に進んで取り組む様子や会話への意欲、発言、授業準備の様子や課題への取り組み等から英語学習に対する関心意欲を評価します。</p> <p>○英会話への取り組み AET や教師、クラスメートとの会話の様子から積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を評価します。英語で会話が出来ているかを授業内での発言や発表の様子から評価します。</p> <p>○小テスト 授業中に行う小テスト、文章テスト等で言語習得の定着度を評価します。</p> <p>○定期テスト・単元テスト 定期テスト・単元テストで言語や文法の知識を問う問題や国際理解に関する問題等を出題し、知識の定着度及び国際理解の深まりを評価します。定期テストの中に、自己表現文や英作文に関する問題を出題し、それらを評価します。英文が正しく読み取れているかを問う問題や、聞き取りの力が身に付いているかを問う問題を出題し、評価します。</p> <p>○スピーチ 学習内容をふまえ、自分で考えたことを英語で書くことが出来るか、またそれを伝えることが出来るかを見取り、英語での自己表現力を評価します。</p> <p>○音読への取り組み 英単語や英文を正しく発音することができているかを評価します。</p> <p>○聞き取り・読み取りへの取り組み AET や教師からの発問を適切に聞きとれているか、また英文読解を正しく行う力が身に付いているかをAET との対話や授業内での活動から評価します。</p>
---